

### 管内高齢者福祉施設等における感染症対策

## 感染リスク区域別カラーマップの活用に向けた取組

塩釜保健所岩沼支所 地域保健班  
○鳥居まりな, 松野あやえ, 橋本朱里, 小野寺保

## その消毒方法は本当に正しいの？

いつもの清掃方法は本当に正しいのかな？

施設職員からの相談・意見

とにかく次亜塩素酸で消毒すれば安心

消毒にお金や時間がかかる…  
もっと効率のよい方法はないのか

清掃にかかる業務量や費用の増大  
(施設の調査及び指導等から)

管内施設における効率かつ普遍的な感染症対策の構築及び強化を図りたい



PDCAサイクル → 感染症対策を継続的に改善

## Plan 資料作成からセミナー開催まで — 活動計画策定 —

目標 感染症対策に係る正しい知識の普及啓発  
現場で活用できる視覚的資料の作成・提供

- 方法
- ① モデル施設のラウンド
  - ② マップの作成
  - ③ 感染症予防普及啓発事業
  - ④ 効果測定

## Plan 保健所の机上で終わらない 管内の専門家・施設の協力を依頼

### モデル施設

感染症の流行を経験したことのある複合型高齢者施設



### スーパーバイザー

管内病院の感染管理認定看護師 (地域専門機関との連携)



科学的根拠  
現場感覚

## Do 施設ラウンドで現状把握 保健所職員がスーパーバイザーと施設をラウンド 各区域の感染リスクを評価



洗浄を要する箇所と消毒を要する箇所の区別が曖昧になっていることが明らかに

## Do 洗浄・消毒箇所を色で区別

カラーマップ

平常時  
流行時

平常時と流行期で  
洗浄・消毒すべき箇所を色分け

## Do 洗浄・消毒箇所を色で区別

平常時  
流行時

洗浄 乾燥

洗浄 消毒 乾燥

清掃の基本的な考え方を明示

## D<sub>0</sub> 施設職員対象にセミナー開催

講師  
保健所職員がモデル

講義で施設内清掃の基礎となる「洗浄」と「消毒」の意義を学び、演習で汚染の拡がり方を“見る”

9

## D<sub>0</sub> 施設職員対象にセミナー開催

マップの使用方法を説明  
ラミネート加工し全員に配付

ーマップ作成時の工夫ー  
○水分を吸収しにくい素材  
○持ち運びにかさばらない大きさ  
○掲示等に適したデザイン

10

## D<sub>0</sub> アンケート実施による効果測定

**対象**  
セミナー参加者 36名

**時期**  
平成31年2月から

**方法・内容**  
アンケート調査 (調査票FAX)  
・活用できた/活用しにくかった点  
・追加してほしい内容  
・仕様について など

11

## C<sub>heck</sub> 講義・演習の理解度は良好

講義及び演習について

**理解度**

- おおむね理解できた 62%
- よく理解できた 35%

**活用度**

- ときどき活用できる 26%
- 多くの場面で活用できる 74%

セミナーの講義や演習をととして、参加者に感染症対策に係る**基本的な知識を普及啓発**することができた。

12

## C<sub>heck</sub> 現場で活用できると好評価

マップについて

**理解度**

- 無回答
- よく理解できた 35%
- おおむね理解できた 62%

**活用度**

- 無回答
- ときどき活用できる 62%
- 多くの場面で活用できる 59%

マップを作成・配布するだけでなくセミナー内でマップの活用方法を説明することによってより**具体的な活用イメージを周知**できた。

13

## A<sub>ct</sub> 改善に向けた活動方針

マップの活用状況や課題等を調査

施設職員等の意見を反映 → **ブラッシュアップ**

管内のニーズに応じて、高齢者・障がい者施設以外の**社会福祉施設向けにマップの変更を検討**

14

## A<sub>ct</sub> 改善に向けた活動方針

定期的にセミナー開催 (正しい知識の普及啓発を継続)  
セミナー参加率向上のためにアンケートにて把握した要望等を計画に反映

マップを正しく活用するために基本的な知識が必要となるためセミナーや出前講座等と同時に普及啓発を図ることが効果的

15

## 考察

**適切な清掃方法の理解**  
業務量や費用の削減  
→ 感染症対策の **効率性**

**視覚的資料の活用**  
「だれもが」「直感的に」理解できる  
→ 感染症対策の **普遍性**

16